

保土ヶ谷区民会議ニュース

やまびこ



編集 保土ヶ谷区民会議 広報委員会  
 発行 第22期 保土ヶ谷区民会議  
 事務局 〒240-0001  
 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9  
 保土ヶ谷区 区政推進課広報相談係内  
 TEL 334-6223 FAX 333-7945  
 平成30年3月15日発行

## 平成29年度「地域のつどい」 提言・要望への回答をいただきました

平成29年度の「地域のつどい」は、6月12日から7月1日にかけて開催し、6会場すべて無事に終了しました。参加した区民は延べ717人で、出された意見も220件に上りました。区民会議発足以来最高の参加数、意見数でした。

出された意見は区民会議で慎重に精査を重ねた結果、その中から39件を提言・要望としてまとめ、8月28日に菅井保土ヶ谷区長に提出し、10月16日に区長から回答が示されました。2日後の保土ヶ谷区連合町内会連絡会で区民会議代表がその旨を報告し、回答の写しを各連合町内会長にお渡ししました。

その後、各町内会・自治会長に回答書の写しと、各地域で検討していただく事項の56件を合わせて郵送しました。同時に提言・要望として取り上げた意見の発言者にも、封書にて回答書を送りました。

今回の回答の特徴は、区役所各部局が例年よりも具体的で、かなり踏み込んだ内容になっていたことでした。中には提言・要望の提出後、日を置かずに現地を確認し、要望が実現したものもありました。また、警察に回答をいただく案件にも、的確な回答が得られたことも特筆すべきことでした。

その後、11月4日に岩間市民プラザで開催した「区民のつどい」でも回答の抜粋を発表しました。提言・要望の回答書全文は、保土ヶ谷区民会議ホームページに掲載してありますので、是非ご覧いただきたいと思えます。

平成30年度も6～7月に「地域のつどい」を開催いたします。多くの区民の皆様にご参加いただき、多数の建設的なご意見が寄せられますことを切にお願い申し上げます。

◎区民会議ホームページ

保土ヶ谷区民会議

検索

平成30年度「地域のつどい」は6月中旬より開催予定です。  
 各地域の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



【菅井区長から回答書を受け取りました】



【回答書受け取り後の懇談風景】

## 「地域のつどい」提言・要望の回答(抜粋)

### 【交通について】

自転車の右側通行など、危険な乗り方をする人が多いので、もっと教育をしてほしい。警察は、強固な取り締まりを願いたい。

#### <回答>

区役所では、自転車利用者のマナー向上について、警察署や交通安全協会、学校などの教育機関や、自治会町内会等地域の団体と協力し、啓発活動等を推進しております。

これまでも、小学校での児童への交通安全教室及び、保護者を対象にした交通安全講話、子どもから高齢者までを対象とした3世代安全教室など、幅広い世代に啓発活動を実施してまいります。

保土ケ谷区地域振興課（電話：045-334-6302 FAX：045-332-7409）

現在、保土ケ谷警察署では、岡沢町エリア、保土ケ谷町エリアを自転車取締りの重点地区に指定し、危険な自転車の運転手に対し、指導取締りを実施しています。また、この取締りと併せて安全講話、小学生を対象とする「はまっこ交通安全教室」等を通じて自転車の正しい乗り方などを指導しています。今回の提言・要望事項を踏まえ、引き続き指導取締りを推進してまいります。

保土ケ谷警察署警務課住民相談係（電話：045-335-0110(代) FAX：045-332-0110）

### 【高齢者について】

自治会では一人暮らしの方を把握はしているものの、何か起こる前や起こった時の対応策として、行政で高齢者向けの総合・包括的な小冊子を作り、敬老会時に配布すれば本人も地域も、この冊子をベースに対応できるので検討を願いたい。

#### <回答>

ご提言いただいたような、高齢者向けの総合・包括的な冊子は、現在、横浜市・保土ケ谷区とも作成していない状況です。近年、高齢者の増加や取り巻く環境の変化にともない、それに対応する制度・サービスも多様化しております。ご提言も踏まえ、今後、ひとり暮らし高齢者を含めた高齢者向けのわかりやすい冊子作成に向けて検討してまいります。

保土ケ谷区高齢・障害支援課（電話：045-334-6381 FAX：045-331-6550）

保土ケ谷区福祉保健課（電話：045-334-6313 FAX：045-333-6309）

### 【水道設置について】

天王町公園には水道が1カ所しかなく、花壇から非常に遠くて、夏場には水道からバケツで水を運んできて撒いている。公園整備をやっているのは高齢者が多いので、花壇の近くに水道を設置してもらいたい。

#### <回答>

花壇等への散水におきましては、公園愛護会等のご要望があれば設置する方向で検討いたします。設置希望箇所等につきまして、一度保土ケ谷土木事務所下水道・公園係までご相談くださいますようお願いいたします。

保土ケ谷土木事務所（電話：045-331-4445 FAX：045-335-0531）

### 【エレベーター設置について】

保土ケ谷駅東口のバスターミナル利用者（特に車椅子利用者）が階段の昇降に困っているので、陸橋とバス停をつなぐエレベーターがほしい。

#### <回答>

保土ケ谷駅周辺では、誰もが円滑に移動し、駅や施設を利用できるよう、バリアフリー化を進めるための基本構想を、平成29年度から平成30年度の2か年で策定します。エレベーターについては、本構想との整合を図りつつ、早期に整備を進めていきます。

保土ケ谷土木事務所（電話：045-331-4445 FAX：045-335-0531）

保土ケ谷区区政推進課（電話：045-334-6374 FAX：045-333-7945）



## 第 22 期前期(29 年度)の活動報告と後期(30 年度)の活動予定

## 環境分科会 — 未来へつなごう 水・緑・資源 —

今期は 21 期に引続き「未来へつなごう水・緑・資源」をテーマに掲げ、スタートしました。サブテーマとして「自然環境」「ゴミ問題」「エコ問題」の 3 部会に分れて活動に取り組み、成果を区民の皆様方に発信して行くこととしました。

6 月には「温暖化対策の取組」について、7 月には「ヨコハマ 3R 夢(スリム)プランの取組」について、区役所係長を講師に迎えて勉強会を実施しました。11 月には区役所と区民会議との協働契約の一環として、区政推進課事業「ほどがや音エコフェスタ」へ協力することにより「エコ問題」を実感しました。2 月には資源循環局鶴見工場と鶴見資源化センターの見学会で「ゴミ問題」を勉強しました。

後半には、「自然環境」対応としてホテル観賞会と横浜市環境科学研究所の見学会、「エコ問題」としては東京ガス根岸工場の見学会を予定して、結果に基づく啓発活動をしていきます。



【ほどがや音エコフェスタへ協力】



【砕かれたガラス瓶粉】

【圧縮されたアルミ缶】



## 教育分科会 — 笑顔であいさつ 思いやりの心を育もう! —

第 22 期の活動テーマを「笑顔であいさつ 思いやりの心を育もう!」とし、前半の 1 年は、第 21 期からの継続活動である「保土ヶ谷区制 90 周年記念事業 相鉄星川駅～区役所の小道に愛称を!」と「あいさつ運動」に取り組みました。小道の愛称については、広報よこはまほどがや区版、タウンニュースや YCV 等での呼びかけにより、区内在住・在勤・在学の方々より 207 点もの応募をいただき、その中から区長、区連会会長及び区民会議代表による最終選考の結果「<sup>こみち</sup>かるがも小径」と決定し、



【権太坂小学校訪問 校長室にて】

開催「区民のつどい」にて最優秀愛称応募者の表彰式を執り行いました。この小道の案内サインは 3 月 26 日、90 周年記念モニュメントと共に、星川駅に通じる橋のたもとに設置される予定です。また、権太坂小学校を訪問し、教育現場の現状を視察しました。後半 1 年の活動としては、「家族の絆」「親子のコミュニケーション」に焦点を絞り、いじめや災害から子どもを守るために、学校・家庭・地域でのよりよいコミュニケーションが重要との認識のもと、情報収集や情報発信をしてまいります。また、「あいさつ運動」については、あいさつグッズ・ポスターを再活用し更なる浸透を図ります。

## 交通分科会 — 安全な道路交通をめざして —

第 22 期は「安全な道路交通をめざして」をテーマに、「自転車・歩行者の交通安全ルール・マナーの啓発」をサブテーマとして、前半は次のような活動を行いました。

1. テーマを実現するモデル地区として保土ヶ谷駅西口の商店街を選定し、現地に関する資料等を収集して具体化のための協議をしました。
2. 安全な自転車走行を啓発するとともに、巨額賠償例を紹介する展示パネルを作成し「区民まつり」と「区民のつどい」で展示しました。
3. 警察署の交通課の係長を講師とする勉強会で、二輪車・自転車の事故の比率が高いという保土ヶ谷区の交通事故の特性や実際に起こった自転車事故の内容などを学びました。

後半はモデル地区の具体化に取り組むとともに、「交通安全運動」等に参画します。



【保土ヶ谷警察署交通課の係長を講師とする勉強会】



## 災害分科会 — 災害に強い、まちづくり —

～防災・減災の原点は自助・共助から～

災害分科会は第 21 期に続き、第 22 期も「DIG (災害図上訓練) 出前講習会」と、新たに「HUG (避難所運営ゲーム) 出前講習会」を実施することを昨年 9 月の区連会で提案し、12 月に HUG 出前講習会を新桜ヶ丘地区 (藤塚小学校地域防災拠点管理運営委員会委員等 65 名にて、所用時間 2 時間 30 分) で実施しました。

情報カードに記載されていることが理解できずどのような結論を出すことが望まれているかに時間がかかりましたが、グループ内に HUG 受講者がおられることもあり、それ以降は順調に進めることができました。

講習会終了後のアンケートでも「避難所運営全般のイメージができました」「避難所運営に必要な知識が理解できました」「講習会はハードでしたが、事前に訓練できたことは参加して良かった」の意見・感想を頂きました。

＜後半活動予定＞

1. 「20 万区民の自助・共助による減災運動」を今後も全面的に支援します。
2. 「DIG 出前講習会」「HUG 出前講習会」を引き続き開催します。



【新桜ヶ丘地区での HUG 出前講習会】

## 福祉分科会 — 学び 考え 発信する福祉分科会 —

第 22 期は福祉の課題や行政の施策などを学び「人にやさしいまちづくり」のために知恵を出し合って活動しています。

前半は高齢者福祉として「認知症支援」や「介護保険制度」について区の実情などを学んできました。平成 29 年 3 月現在、保土ヶ谷区の 65 歳以上の人口は約 5 万 3 千人、一人暮らし高齢者は約 1 万人、要介護認定者も約 1 万人です。人生 100 年時代に入って、個人にとっては介護に頼らず生き生きと暮らす工夫 (介護予防) が喫緊の課題になってきました。



【榎太坂・光風会 (のばら園・すみれ園) 見学】

また、障がい者福祉として「障害者差別解消法」(平成 28 年 4 月施行) 後の状況について当事者の声をお聞きすると、まだまだ浸透・改善されていないのが実情です。2 月 8 日には狩場町にある知的障がい者施設を見学し、福祉の現場を学んできました。後半は、今後更に重要さを増す「介護」について学び、考え、発信していきたいと思えます。

## 「<sup>こみち</sup>かるがも小径」の案内サイン設置

保土ヶ谷区制 90 周年記念事業として取り組んだ「相鉄星川駅～区役所の小道に愛称を！」は、おかげさまで 207 点もの応募をいただき、その中から「かるがも小径」が最優秀愛称に選ばれました。

【案内サインイメージ】



【「区民のつどい」において最優秀者 3 名の方が表彰されました】



この度、現地に「かるがも小径」の案内サインが設置される運びとなり、3 月 26 日に除幕式が行われます。並んで保土ヶ谷区制 90 周年記念モニュメントも建立されます。区民の皆さまには、お近くを通られる折、是非ご覧いただけたらと思います。